

令和3年度
事業報告書

社会福祉法人 多賀城市社会福祉協議会

令和3年度 多賀城市社会福祉協議会 事業報告書

目 次

社会福祉事業 P.1 ~ 16

公益事業 P. 16 ~ 17

「令和3年度 ふれあいまちづくり事業 助成団体一覧」(P.18)

【社会福祉事業】

1. 地域福祉事業の推進

ふれあいまちづくり事業

「地域共生社会」の実現に向け、希薄化する地域のコミュニティを再生・活性化するため、地域でのサロン活動等に活動資金の助成を行った。

団体数：32団体 助成総額：1,202,820円

活動内容：茶話会、健康体操教室、グラウンドゴルフ、こども食堂等

※助成団体の詳細は、別表「令和3年度 ふれあいまちづくり事業 助成団体一覧」(p.18)を参照。

2. 老人福祉事業の推進

ひとり暮らし高齢者への配食サービス事業

コロナウイルス感染症の影響により、文化センターに一堂に会する形式での開催が出来ないため、昨年度に引き続き、今年度は年4回、配食型サービスを実施した。

また、配布先の高齢者との会話を通し、生活状況の把握や体調・ワクチンのことで不安を抱える方については市の担当課や包括支援センターへのつなぎ、民生委員への情報提供等を行うことで、ひとり暮らし高齢者の孤立防止に努めた。

第1回実施分（6月28日、29日、30日、7月2日、5日の5日間）

登録者	102名
配付人数	102名
配布物	①お弁当（レインボー多賀城）、②赤かぶ青菜ふりかけ（理研食品より寄付）、③災害備蓄用パン（ポリテクセンター宮城より寄付）

第2回実施分（10月4日～8日の5日間）

登録者	104名
配付人数	103名 ※未利用者は通院1名
配布物	①お弁当（おむすび いの字）、②ヤクルト3本セット、③メッセージカード（八幡・志引・桜木保育所の園児が作成）

第3回実施分（12月20日～24日の5日間）

登録者	106名
配付人数	104名 ※未利用者は入院1名、施設入所1名
配布物	①お弁当（食事処 むつごろう）、②わかめスープ3種（理研食品から寄付）、③みかん、④メッセージカード（八幡・志引・桜木保育所の園児が作成）、⑤クリスマスカード（仙台育英IBコースの生徒（9名）が作成、折り紙付き）

第4回実施分（3月14日～18日の5日間）

登録者	106名
配付人数	102名 ※未利用者は入院2名、施設入所1名、家族と同居1名
配布物	①お弁当（伊達なおふくろ弁当）、②わかめスープ3種（理研食品から寄付）、③お茶、④メッセージカード（八幡・志引・桜木保育所の園児が作成）、

3. ボランティア啓発事業の推進

(1) 介護支援ボランティア活動ポイント事業

1) 登録者を対象とするボランティア講習会の開催（2回開催）

対象者：3名 受講者：3名（登録者総数：140名）

2) 活動ポイントの管理・転換業務を行った。

ポイント転換交付・振込件数・・・1件（活動者1名）

(2) ボランティア保険の受付事務を行った。 ・団体6件 計303名 ・個人2件 計2名

4. 福祉教育普及の推進

キャップハンディ体験学習を実施し、車いす・白杖・疑似体験キットの貸出を行った。

・キャップハンディ体験学習・・・多賀城小、八幡小 計152名

・機器の貸出し

山王小・多賀城東小・城南小・多賀城小・八幡小

車椅子：延30台、白杖：延119本、疑似体験キット：4セット

5. 福祉機器貸出事業

市民への車椅子の無料貸出

保有台数：12台（普通タイプ11台、足こぎタイプ1台）

貸出状況：利用申請48件、延48台貸出（普通タイプ）

6. 相談事業の推進

人権相談所の開設・・・相談員(人権擁護委員)により実施した。(事前予約制)

相談日 毎月第2月曜日 年間10日 相談件数 0件

※特設相談は、6月(相談者1名)、12月(相談者0名)に実施した。

	開催日数	相談件数
令和2年度	12	0
令和3年度	12	1
増減	0	1

7. 生活支援事業の推進

(1) 福祉サービス利用援助受託事業(まもりーぶ)

認知症や知的障害・精神障害等があることにより、日常生活を営むうえで必要な福祉サービスの選択や、金銭管理・支払いなどが本人のみでの判断では支障をきたす方を対象に、生活支援員が日常生活支援を行った。(対象：宮城県社会福祉協議会と利用契約を締結した多賀城市在住の方)

対象者：10名

(認知症：4名、知的障害：0名、精神障害：4名、その他：2名)

支援回数：延 163回

職員体制：生活支援員 8名、 専門員(宮城県社協) 1名

	対象者	延利用回数
令和2年度	10	132
令和3年度	10	163
増減	0	31

(2) 福祉資金の貸付相談状況

1) 生活福祉資金(新型コロナウイルス感染症に係る特例貸付)

新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少や失業状態にある困窮世帯へ、生活再建のための生活資金の貸付を行った。

また、生活困窮者の相談窓口である多賀城市自立相談支援窓口との連携により、家計状況の整理や住居確保給付金等の各種支援制度の利用促進を図ることで相談者の自立支援に努めた。

令和3年度実績(累計は制度開始(令和2年3月25日)からの積算。)

緊急小口資金・・・貸付決定 215件(累計638件) 不承認2件(累計8件) 差戻1件

※差戻し分は、申込から3か月経過するも必要書類の未提出による。

総合支援資金・・・貸付決定 357件（累計628件）不承認 0件（累計1件）

※総合支援資金の種別内訳・・・初回貸付（最大3ヶ月分）・・・223件
 延長貸付（最大3ヶ月分延長）・・・33件
 再貸付（最大3ヶ月分追加）・・・101件

2) 生活福祉資金

相談件数

37件（貸付に関する相談：20件、償還に関する相談：17件）

① 貸付に関する相談受付：延20件（実数12件）

・貸付件数： 1件

福祉資金福祉費（車検・車両整備代） 貸付金額 297,000円

・不承認： 0件 ・取下げ： 0件

・県社協への貸付申請提出に至らなかった件数：延19件（実数11件）

※家計の見直し、他制度の紹介により相談終了。

② 償還に関する相談受付：延17件（実数16件）

（内訳）

資金名	件数
緊急小口資金（震災特例含む）	15件
福祉資金	1件
総合支援資金	0件
生活復興支援資金	0件
教育支援資金	1件
不動産担保型生活資金	0件
不動産担保型生活資金（要保護）	0件
臨時特例つなぎ資金	0件

（相談内容） 償還金額変更、繰上償還、書類作成指導等

3) 生活安定資金・高額療養費

① 高額療養費 貸付件数 0件

② 生活安定資金 貸付件数 0件 貸付額 0円

	高額療養費		生活安定資金	
	件数	金額	件数	金額
令和2年度	0	0	2	100,000
令和3年度	0	0	0	0
増減	0	0	△2	△100,000

③ 償還金滞納に対する基本方針及び督促手順書に基づき、債権の回収に努めた。

償還件数 延48件 償還金額 275,000円

(3) フードドライブ事業により食糧支援の活性化を図った。

「もったいないをありがとうへ」をスローガンに、生活困窮者やこども食堂の支援関係先に提供物を配分し食糧支援を促進することで、相談者の自立支援や活動の活性化に努めた。

提供先：多賀城市自立相談支援窓口、こども食堂（市内）、NPO 法人いのちのパン等

	食料品		日用品	
	受入数	提供数	受入数	提供数
令和2年度	593	577	114	88
令和3年度	2,126	2,142	216	224
増減	1,533	1,565	102	136

※令和2年度中の1月12日から受け入れ開始。

※令和3年度分の提供数には令和2年度の繰り越し分、食料品16件・日用品8件を含みます。

8. 福祉団体への助成及び事業支援

(1) 福祉団体への助成を行うとともに事業支援を行った。

- ① 5.28 市老連シニアスポーツ大会ペタンク競技（中央公園サッカー場）・・・50名参加
- ② 7.9 市老連シニアスポーツ大会（さんみらい多賀城イベントプラザ）・・・282名参加
- ③ 6.18 市老連シニアスポーツ大会グラウンドゴルフ競技（多賀城市総合体育館）・・・175名参加
- ④ 12.17 令和3年度民生委員・児童委員現任研修会（文化センター小ホール）・・・74名参加

(2) 福祉団体への運営協力(事務局設置)を行った。(令和4年3月31日現在)

- | | | |
|--------------------|-----|------|
| 1) 多賀城市民生委員児童委員協議会 | 会員数 | 89名 |
| 2) 多賀城市老人クラブ連合会 | 会員数 | 660名 |
| 3) 多賀城市身体障害者福祉協会 | 会員数 | 71名 |
| 4) 多賀城市遺族会 | 会員数 | 83名 |
| 5) 多賀城市ボランティア連絡会 | 会員数 | 46名 |
| 6) 多賀城市母子福祉連合会 | 会員数 | 29名 |
| 7) 多賀城市手をつなぐ育成会 | 会員数 | 73世帯 |
| 8) 多賀城市人権擁護委員 | 会員数 | 6名 |
| 9) 多賀城市町内会長連絡協議会 | 会員数 | 46名 |

9. 多賀城市共同募金委員会による事務事業の実施

(1) 多賀城市共同募金委員会の事務局を担い、共同募金奉仕員・民生委員の協力を得ながら、赤い羽根共同募金運動及び歳末たすけあい募金運動を実施した。

- 1) 赤い羽根共同募金 募金額 6,222,655 円
2) 歳末たすけあい募金 募金額 3,640,450 円

	赤い羽根共同募金	歳末たすけあい募金
令和2年度	6,931,242	4,168,925
令和3年度	6,222,655	3,640,450
増 減	△708,587	△528,475

(2) 宮城県共同募金会による配分金事業の広報及び事務受付窓口となり、地域の福祉の向上に寄与した。

- 1) 「住民力・地域力・福祉力を高める支援事業（令和2年度事業）」による地域活動への助成配分：1件 助成先：育自の会
- 2) ポラサポ2（被災地住民支え合いサポート募金〈支援金〉）・・・3件
配分先：認知症カフェなかつざいカフェ、スマイルノルディックウォーキング多賀城ひだまりカフェ

10. 歳末たすけあい配分により生活困窮世帯や福祉施設の支援を行った。

配分件数 276世帯 10施設

※配分施設

認可外保育所 いちご保育園、にじっこ園

こども食堂 高崎こども食堂らっこ広場、こども食堂多賀城わーど、多賀城こども食堂、みんなで食べよう会

障害者施設 たけちゃんち（放課後等デイサービス）レインボー多賀城（就労継続支援B型）就労支援事業所ゆい（Ⅱ）福祉工房のぞみ園（Ⅱ）

配分金額 3,636,955 円 配分経費 3,495 円 残余金 0円

合計 3,640,450 円 （前年残余金 0円）

	配分世帯	配分施設	配分金総額
令和2年度	256	4	4,168,925
令和3年度	276	10	3,640,450
増 減	20	6	△528,475

1 1. 広報活動の推進

- (1) 広報誌「社協だより」を11月、令和4年4月（令和3年度分）に発行、社会福祉協議会事業活動の啓発に努めた。（発行部数 各27,300部）
- (2) 市広報紙「たがじょう」に関連記事を掲載した。
- (3) 社協会費納入に際しチラシを発行した。
- (4) ホームページによる事業案内・紹介を行った。

1 2. 法人化50周年記念講演会を開催した。

多賀城市社会福祉協議会のこれまでの歩みと、今後取り組むべき課題を確認することと
おして、事業運営及び関係団体との連携を促進するため記念講演会を開催した。

日 時： 令和3年9月28日（火） 10:00～

会 場： 多賀城市文化センター 大ホール

講 師： 東北福祉大学 総合マネジメント学部 准教授 森 明人 氏

「単身化社会時代に向けた市民創造型の共生社会づくり」

参加者： 104名（民生委員児童委員 64名、町内会長 20名、社協役員等 8名
福祉関係者 2名、市職員 10名）

1 3. 多賀城市地域福祉活動計画推進委員会を開催した。

第1期多賀城市地域福祉活動計画の進捗管理について、推進委員会を開催した。

日 時： 令和3年11月17日（水）

場 所： 多賀城市社会福祉センター 2階会議室

内 容： 第1期多賀城市地域福祉活動計画の進捗管理に係る評価指標の設定について

1 4. 災害ボランティアセンターを迅速かつ適切に設置運営できる体制整備を行った。

- (1) 災害ボランティアセンターの設置・運営に係る協定書の締結

災害ボランティアセンターの円滑な設置・運営を目的に、多賀城市との役割分担を明確にするため、「災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定書」及び「ボランティア活動と多賀城市の実施する救助との調整に関する業務委託契約書」を締結した。

- (2) 設置運営に関する共通理解を得るための研修会の実施（宮城県社協との共催）

災害ボランティアセンター運営スタッフ体験研修

日 時： 令和3年10月14日（木）

場 所： 多賀城市文化センター 展示室

参加者： 37名（町内会長 14名、民生委員 9名、市民 2名、多賀城市職員 3名、市民活動
サポートセンター職員 1名、県内社協職員 5名、多賀城市社協職員 3名）

テーマ：「カードワークを通して災害時の住民ニーズ・地域の動きを考えよう」

15. 社協組織体制の強化推進

(1) 法人統治機構や関係機関の円滑な運営に努めた。

1) 正副会長会議 開催回数 3回 (場所：多賀城市社会福祉センター)

開催回	年 月 日	内 容
第1回	令和3年5月17日	(議題) 令和3年度第1回理事会、第2回理事会提出議案について
第2回	11月24日	(議題) 令和3年度第3回理事会提出議案について 歳末たすけあい配分委員会について
第3回	令和4年2月28日	(議題) 令和3年度第4回理事会提出議案について

2) 理事会 開催回数 4回 (場所：多賀城市社会福祉センター)

開催回	年 月 日	内 容
第1回	令和3年6月3日	(議案) (1) 生活安定資金の不納欠損処分について (2) 令和2年度事業報告並びに決算報告について (3) 組織規程の改正について (4) 経理規程の改正について (5) 多賀城市社会福祉協議会役員の選任候補者の選定について (6) 令和3年度収入支出補正予算(第1号)(案)について (7) 令和3年度第1回評議員会の開催について
第2回	6月23日	(議案) (1) 会長・副会長・常務理事の選定について (2) 多賀城市社会福祉協議会 評議員選任候補者の選定について (3) 評議員選任解任委員会 委員の選任について (4) 評議員選任解任委員会の開催について
第3回	12月2日	(報告) 令和3年度上半期事業進捗状況報告について

第4回	令和4年3月9日	<p>(議案)</p> <p>(1) 苦情解決制度に係る第三者委員の選任について</p> <p>(2) 令和3年度収入支出補正予算(第2号)(案)について</p> <p>(3) 令和3年度第2回評議員会の開催について</p> <p>(議案)</p> <p>(1) 役員等賠償責任保険契約の更新について</p> <p>(2) 令和3年度収入支出補正予算(第3号)(案)について</p> <p>(3) 令和4年度事業計画(案)及び収入支出予算(案)について</p> <p>(4) 令和3年度第3回評議員会の開催について</p>
-----	----------	---

3) 評議員会 開催回数 3回 (場所:多賀城市社会福祉センター)

開催回	年 月 日	内 容
第1回	令和3年6月22日	<p>(報告)</p> <p>例規の改正について(組織規程及び経理規程)</p> <p>(議案)</p> <p>(1) 生活安定資金の不納欠損処分について</p> <p>(2) 令和2年度事業報告並びに決算報告について</p> <p>(3) 多賀城市社会福祉協議会役員の選任について</p> <p>(4) 令和3年度収入支出補正予算(第1号)(案)について</p>
第2回	12月16日	<p>(報告)</p> <p>令和3年度上半期等事業進捗状況報告について</p> <p>(議案)</p> <p>令和3年度収入支出補正予算(第2号)(案)について</p>
第3回	令和4年3月24日	<p>(議案)</p> <p>(1) 令和3年度収入支出補正予算(第3号)(案)について</p> <p>(2) 令和4年度事業計画(案)及び収入支出予算(案)について</p>

4) 歳末たすけあい配分委員会（場所：多賀城市社会福祉センター）

年 月 日	内 容
令和3年12月2日	(議案) ※第3回理事会と同日開催 令和3年度歳末たすけあい配分について

5) 福祉員会議（場所：多賀城市市民活動サポートセンター）

年 月 日	内 容
令和3年7月1日	(報告) (1) 令和3年度多賀城市社会福祉協議会の取り組みについて (2) 令和3年度ふれあいまちづくり事業について (3) 多賀城市地域福祉活動計画について (依頼) 令和3年度多賀城市社会福祉協議会会費のお願いについて

(2) 監査により法人経営の適正化を図った。

1) 令和2年度に係る監事監査

日 時：令和3年5月18日

場 所：多賀城市社会福祉センター

内 容：令和2年度に係る計算書類及び事業報告等の監査

2) 会計指導監査

日 時：令和3年5月7日、9月15日、11月26日、令和4年2月10日

場 所：多賀城市社会福祉センター

内 容：公認会計士による訪問会計指導監査（財務、会計処理について等）

(3) 内部規程の整備や研修等により労務管理及び人事管理の改善に努め、事務事業の適正かつ効果的な実施を図った。

(4) BCP（事業継続計画）の策定により、災害等の緊急事態における、本会の各事業の継続的な実施及び早期の再開を行える体制を整備した。

(5) 自主財源の確保により、安定した組織運営に努めた。

一般会員、特別賛助会員（個人・法人）の加入促進を、福祉員・民生委員児童委員の協力を得ながら行った。

1) 一般会費 7,093,350円

2) 特別賛助会費 2,090,000円（185件）

合 計 9,183,350円

	一般会費	特別賛助会費	合 計
令和2年度	7,722,450	2,090,000	9,812,450
令和3年度	7,093,350	2,090,000	9,183,350
増 減	△629,100	0	△629,100

16. 多賀城市社会福祉センター維持管理

管理

- 1) 防火設備定期点検の実施（年2回） 委託業者：ニッタン(株)
- 2) 自動ドア定期点検の実施（年4回） 委託業者：(株)トーコン
- 3) エレベーター定期点検の実施（毎月） 委託業者：(株)日立ビルシステム
- 4) 休日・夜間警備 委託業者：(株)セコム
- 5) 屋内清掃（週1回） 委託業者：ブイファッション仙台(株)
 ※床洗浄ワックス清掃（年2回）、ガラス清掃（年1回）

整備

- ・事務室拡張改修工事（1階事務室）、書庫の整備（3階）

17. 介護保険事業

- (1) 居宅介護支援事業 介護支援専門員(ケアマネジャー)4名 利用件数 延 1,477 件

	令和2年度	令和3年度	増減
延利用件数	1,518	1,477	△41

- (2) 予防介護支援業務（予防プラン作成業務）受託事業 利用件数 85件

	令和2年度	令和3年度	増減
利用件数	126	85	△41

- (3) 多賀城市要介護等認定調査受託事業

介護保険法に基づく要介護認定・要支援認定の訪問調査業務を行った。

- 1) 調査員：5名（認定調査員1名、介護支援専門員4名/居宅介護支援事業兼務）
- 2) 調査件数：386件（在宅：281件、施設：105件）

	令和2年度	令和3年度	増減
調査件数	210	386	176

18. 障害者福祉の推進

(1) 多賀城市福祉工房のぞみ園の管理運営

職員体制：園長1名、園長補佐(サービス管理責任者)1名、指導員8名

事業内容：利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練を個別支援計画に基づき実施した。

利用者：40名(定員40名)延利用 8,741回 (令和4年3月31日現在)

支援内容：

施設内作業支援(請負業務：5社 コンテナ清掃作業、ダンボール加工、テープ分解作業等)

施設外作業支援(請負業務：3社 公園トイレ清掃、花壇整備、キャップ仕分)
生活訓練(日常生活の基本動作・ルールや基本的な生活習慣を身に着ける支援)

○就労継続支援サービス提供実績(のぞみ園)

	利用登録者(定員)	延利用者	延利用回数	1日平均利用者数
令和2年度	43(40)	510	8,953	37.2
令和3年度	40(40)	491	8,741	35.9
増減	△3(0)	△19	△215	△1.3

のぞみ園利用者が、雇用契約を結ぶ就労継続支援A型事業所へ移行することができた。前年度同様にあやめ祭り、バザー等のイベントも中止となった。

(2) グループホーム「ホーム桜木」・「ホームさざんか」の管理運営

職員体制：ホーム桜木

施設長1名、サービス管理責任者1名、生活支援員4名、世話人3名

ホームさざんか

施設長1名、サービス管理責任者1名、生活支援員3名、世話人1名

事業内容：利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において、相談・入浴・排せつ又は食事の介護その他の日常生活上の援助を個別支援計画に基づき実施した。

入居者：ホーム桜木 6名(定員男性6名)、ホームさざんか 6名(定員女性7名)

○ホーム桜木：共同生活援助サービス提供実績

	利用登録者(定員)	延利用日数	1日平均利用者数
令和2年度	6(6)	1,852	5.0
令和3年度	6(6)	1,992	5.4
増減	0(0)	140	0.4

○ホームさざんか：共同生活援助サービス提供実績

	利用登録者（定員）	延利用日数	1日平均利用者数
令和2年度	7（7）	1,317	3.6
令和3年度	6（7）	1,480	4.1
増減	△1（0）	163	0.5

19. 指定管理者制度による多賀城市シルバーヘルスプラザ・多賀城市屋内ゲートボール場の管理運営

(1) 多賀城市シルバーヘルスプラザ（指定管理）

1) 運営状況（開館日数276日）

※8月27日～9月12日：緊急事態宣言による臨時休館

※3月17日：地震による臨時休館

※8月20日～26日：まん延防止重点措置によるカラオケ自粛

※9月13日～9月30日：まん延防止重点措置によるカラオケ自粛

※10月1日～10月31日：リバウンド防止徹底期間によりカラオケ自粛

① 職員体制：館長1名、事務職員1名、看護師1名、嘱託医1名、送迎等2名

② 新規利用登録人数 41人 ※ 令和4年3月31日現在（年度末比較）

利用登録者数 1,056人（男性 529人、女性 527人）

	令和2年度	令和3年度	増減
新規登録者数	14	41	27
利用登録者数	1,020	1,056	36

③ 個人利用 延 14,407人、団体利用 2,964人、奉仕・事業利用延 993人

	令和2年度	令和3年度	増減
個人利用者数	12,083	14,407	2,324
団体利用者数	2,570	2,964	394
奉仕・事業利用	337	993	656
利用者合計	14,990	18,364	3,374

④ お風呂利用 延 7,625人（1日複数回入浴する利用者も少人数いる）

⑤ スカイウェル(ヘルストロン) 利用 延 5,088人

	令和2年度	令和3年度	増減
お風呂利用	6,070	7,625	1,555
ヘルストロン利用	4,329	5,088	759

⑥ 避難訓練の実施

（第1回目） 期日：令和3年9月30日

内容：通報訓練、避難及び避難誘導訓練

参加者：34名

(第2回目) 期日：令和4年2月21日
 内容：通報訓練、消火訓練、避難及び避難誘導訓練
 参加者：29名

⑦ 感染症対策

- ・ 入館時の検温実施と手指の消毒、マスク着用の依頼継続
- ・ 3密対策にてホール・娯楽談話室のテーブルにアクリルパネル設置
- ・ 駒・碁石の消毒継続
- ・ 健康麻雀にジャンシールド（飛沫防止）設置（3卓分）
- ・ 入浴人数制限の継続

2) 健康増進事業・会場提供共催事業実施状況

- ① 医師・看護師による健康相談、血圧測定（延109名）
- ② 健康体操教室・・・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為開催なし。
- ③ 健康ストレッチ教室（主催：多賀城市保健福祉部） 参加者993名
- ④ 「ラジオ体操」の実施 毎日館内放送により

3) 利用者交流事業の実施

シルバーヘルスプラザ演芸大会開催・・・新型コロナ感染症拡大防止の為開催なし

4) 修繕 6件

- ① 灯油タンク内油量計の交換／有限会社橋沼燃料商会（6月）
- ② ストープ点検清掃／有限会社橋沼燃料商会（11月）
- ③ ろ過機エアバルブ修繕及びエア抜き作業／有限会社ナカテック（11月）
- ④ 集会室蛍光灯交換（10ヶ所20本）／ミヤデンおおいずみ（11月）
- ⑤ 火災受信機バッテリー交換/宮城防災設備株式会社（3月）
- ⑥ 給茶機氷温センサー、モーター交換／鳳商事株式会社（3月）

(2) 多賀城市屋内ゲートボール場（指定管理）

- 1) 運営状況（開館日数341日）※8月27日～9月12日、3月17日臨時休館
 但し既に予約済みの団体は利用。
 （8月29日、30日は予約済みの為開館）

○ 職員体制：シルバーヘルスプラザ兼務

○ 利用件数 229件、利用者数 延1,995人、貸出時間 670時間

	令和2年度	令和3年度	増減
利用件数	192	229	37
利用者数	1,966	1,995	29
貸出時間	565	670	105

○ 感染症対策

- ・ 入館時の検温の実施と手指の消毒、名簿提出及びマスク着用依頼の継続
- ・ 3密を避けてのプレイ及び休憩依頼の継続

2) 自主事業実施状況

① 健康増進活動

多賀城市社会福祉協議会長杯ゲートボール大会開催

期 日： 令和3年12月4日

参加者： 16名

協 力： 多賀城市ゲートボール協会

3) 修繕 1件

- ① ガスコンロ点火不良修繕／有限会社橋沼燃料商会（2月）

【公益事業】

1、多賀城市中央地域包括支援センター受託事業

多賀城市内担当圏域、17地区(中央地区)をエリアとした高齢者に係る総合相談支援業務 包括的・継続的ケアマネジメント支援、介護予防マネジメント業務並びに保健・福祉・医療との連携を行った。

- 1、職員体制：6名（社会福祉士2名・主任介護支援専門員2名・介護支援専門員1名・看護師1名）

2、活動実績

(1) 相談援助・調整業務

3,049件（相談援助：1,409件、関係機関との連絡調整：1,640件）

(2) 総合相談支援業務

1,342件（来所：158件、電話：904件、訪問：280件、その他：0件）

(3) 権利擁護業務

35件（後見人制度：5件、虐待：26件、消費者被害：4件、その他：0件）

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 22件

(5) 介護予防マネジメント業務

1,640件（介護予防プラン作成 / 要介護認定状態区分 要支援1・2）

(6) お元気ですか訪問業務

担当圏域17地区内に居住する75歳以上の一人暮らし世帯・高齢者のみ世帯を年2回訪問し、安否確認並びに日常生活及び心身状態の把握を行った。

- ・訪問対象件数：563世帯

住民基本台帳上では一人暮らし世帯 348世帯・高齢者のみ世帯 215世帯(430人)

※実際には家族との同居・転居・死亡等、対象から外れる世帯も含まれている。

- ・対象世帯の安否確認状況：一人暮らし世帯：延 561世帯 高齢者世帯：延 384世帯

※気になる世帯は3回以上訪問している。

	令和2年度	令和3年度	増減
総合相談件数	941	1,342	401
権利擁護支援業務件数	20	35	15
包括的・継続支援件数	33	22	△11
予防マネジメント件数	1,619	1,640	21
お元気ですか訪問件数	675	695	20

(7) 第2層協議体（「たが和っか」）の開催（生活支援コーディネーター業務）

CLC（NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター）から助言・提言を受けつつ、生活支援体制整備協議体（第2層協議体）を8回開催し、地域住民や関係機関との対話を通じて地域の特性や実情、ニーズ、資源等の把握を行った他、地域住民の支え合いの仕組みづくりのため、サロン活動等の運営・活動の側面支援を行った。

（協議体委員）

民生委員、町内会長、老人クラブ、介護サービス事業所、シルバー人材、社協、地域包括、行政担当課等によって構成。

(8) 地域ふれあいサロン「ふらっとよらいん」の開催

地域での孤立・閉じこもりの防止、ふれあい・楽しい仲間づくりの場のモデルケースとして、地域の住民が集うサロンカフェの運営を行った。

場 所：多賀城市社協 2階 会議室（8月は市民活動サポートセンター）

日付	内容	参加者
令和3年6月18日	デュアルタスク運動・脳トレ	15名
8月20日	講話「熱中症について」、ストレッチ	9名
10月22日	講話「しっかり食べて健康長寿」、ストレッチ・脳トレ	19名
11月26日	講話「エスperanto語について」	14名
12月17日	軽体操、講話「笑顔と健康について」	14名

別表「令和3年度 ふれあいまちづくり事業 助成団体一覧」

No.	助成団体名	対象地区名
1	新田地区となりぐみ	新田三区
2	新田多賀モリ会	※新田
3	笑学交1年3組（ランチの会）	高橋東一
4	南宮自治会	南宮
5	浮島グランドゴルフ愛好会	浮島
6	多賀城市城南自治会	城南
7	高崎グランド・ゴルフ愛好会	高崎
8	東田中親交会	東田中
9	東田中南自治会	東田中南
10	志引ふれあいの会	志引
11	留ヶ谷粋生クラブ	留ヶ谷
12	伝上山親和会	伝上山
13	東能ヶ田多賀モリ会	東能ヶ田
14	リビング『たんぼぼ』	丸山
15	黒石崎「まなの会」	黒石崎
16	下馬北区健康クラブ	下馬北
17	下馬なごみの会	※下馬
18	いきいき健康グラウンド・ゴルフ	※下馬
19	笠の会	※笠神
20	大代中区町内会	大代中
21	大代福幸2	大代西
22	桜木東区町内会	桜木東
23	桜木あやめ会	桜木北
24	桜木地域交流卓球愛好会	※桜木
25	さくらんぼグランドゴルフクラブ	※桜木
26	八幡上一 ラージボールピンポン愛好会	八幡上一
27	八幡上二区町内会	八幡上二
28	八幡マーシャン愛好会	※八幡
29	八幡卓球愛好会	※八幡
30	八幡グラウンド・ゴルフ愛好会	※八幡
31	高崎こども食堂らっこ広場	※
32	多賀城健康麻雀クラブ	※

※印の団体は、町内会の範囲をまたいだ活動をしている団体。